

2009年 第1回 IEEE 福岡支部理事会 議事録案 (2009/1/24 版)

日 時：平成21年1月24日(土) 11:00～17:00

場 所：(財)福岡国際会議場 402号室

出席者：荒木、牛島、内田、大久保、興、窪寺、末次、末吉、谷口、西本、二宮、乃万、渡辺健次、諸岡(砂川代理)、山下、檜崎*

事務局：牛島(好)

*24名の定員中16名出席で定足数を満たしている。(Section Addendum V-2)

議 題：

前回議事録の承認

興 Secretary の方から議事録案の紹介があった。変換ミスや記述に不鮮明なところが多いため、再度確認し、メールで再度配布することとなった。

2009年支部活動状況及び会員数の報告

興 Secretary より ExC-2009-1-3 に基づいて、研究会の共催・協賛支援事業の報告があった。12件の会議を行い、セクションとしてはボーナスの条件を満たしていることが確認された。(この報告は11月までに行わないとカウントされない)

末次 Treasurer からは5件以上の開催が Section リポートの条件であること、各チャプターについては2件以上が必須、5件以上でボーナスがもらえることが確認された。なお、電気関係学会九州支部連合講演会が記載漏れになっていることが指摘され、本来の会議は13回(理事会2回を含む)であった。今後留意するように指摘があった。

続いて、会員増減について報告された。1/23の時点で777人のActive会員がいて、昨年2月の797人から一旦90人近く減じたものの、再び70人増加していることが報告された。この増減は主に学生会員の増減であり、4月に卒業でかなりの会員が脱会し、その後連合体か会などで新規会員が増加していると考えられる。その他、状態別や Chapter 構成員別についての報告があった。最後に学生会員の大学別分布が報告され、九州大学・九州工業大学・熊本大学・早稲田大学がそれぞれ20人以上の学生・大学院生会員を有することが示された。次点は琉球大学である。

さらに ExC2009-1-3-2 で事務局の牛島より2008年決算報告と予算案の紹介がなされた。セクションの収入については、新規役員よりセクションアセスメントが JC にすべて提出されている理由について質問があり、荒木 Chair および牛島 NC Chair より、JC の設立経緯とセクションとの関係及び、資金の運用の形態やセクション支援費の意義が説明された。とくに牛島 NC Chair より、セクション支援費は JC から「下さる」類のものではないことに留意して欲しい、との意見が付与された。また、リポート収入などに於いて為替レートの影響が大変大きいこと、アセスメントが増加しても実際の円建て収入が減少したこと、今年初めにはさらに円高が進んでおり、リポートの目減りも危惧されることが示された。次に、WWW 管理委託費20000円の見直しやセクション支援費の金額の調整の意見も出されたがとりあえず原案通りとなった。(セ

クション支援費は以降の議論で修正される)。さらに繰越金額が 30 万ほど減少する赤字収支となっている事については、TENCON2010 準備金として 50 万円を実行委員会口座に振り込んだため、これを除けば収支は健全である旨の説明が末次 Treasurer よりあった。

福岡支部学生研究奨励賞受賞者の選考

窪寺 SAC Chair から ExC-2009-1-4 により採点集計結果について報告・説明があり、今回の応募は 35 名であること、得点数順の状況から同点の 9 位 3 名に付き 11 名を授賞対象としたい旨の案が示された。末吉 C Chapter Chair より、採点基準が採点員により上下していること等の指摘、2007 年(42 応募中 14 名授賞)にくらべ授賞率が下がること、2008 年はこれを受けて奨励賞のためのセクション支援費が 5 万増額した 25 万になっており、受賞者が減るとその前提が崩れることなどが補足されたが、受賞者数については特に異論が出なかったため原案通り 11 名授賞で決定された。この結果は直ちにホームページで発表される。

昼食・休憩(12:00~13:00)

Japan Council 理事会報告

ExC-2009-1-5 により、第 2 回 JC 理事会については荒木 Chair より報告があった。JC の会計報告においてもドル・円の為替レートが問題になっていたこと(昨年 8 月の時点で)、Chapter 活動の JC による支援に於いて問題提起があったことなどが指摘された。特に Chapter の企業主催イベントへの共催については、Non-Profit(NPO)でなければいけないとのことで、注意が必要である。Chapter が出す賞についても選考過程や基準について Chapter Operation Committee で議論することとなっていた。History Committee においてはマイルストーンの積極的申請の依頼と、各支部でも History 関連の委員会を設立してもらいたいとの要望が出ていることが紹介された。また、特許法第 30 条の「新規性喪失の例外適用規定」に IEEE が該当するようにアクションが起こっていることも紹介された。

第 3 回 JC 理事会については興の方から報告があった。JC 理事の 2 年の任期の最後の理事会で、まとめのな会合であり、Chapter 支援をはじめとした JC 活動の最終報告。2009 年に向けた JC 橋本 Treasurer の決算報告・予算案、History Committee の活動状況としてマイルストーンの申請も順調であることが報告された。福岡支部としては TENCON2010 の引き続きの支援についても議事録に残して欲しい旨提案したが、WWW の議事録にはその旨がなかったことが触れられた。

平成 21 年度電気関係学会九州支部連合会について

ExC-2009-1-6 に従って末次 Treasurer より平成 21 年度の同講演会の第 1 回運営委員会の内容が報告された。連合大会の 2008 年度講演会開催状況・収支状況ともおおむね順調であったため、2009 年度も同様の活動を目指している。運営委員長は九工大の江島先生である。2009 年度は 9 月 28 日(月)~29 日(火)、九州工業大学(飯塚キャンパス)にて開催予定である。講演申し込み時期は 6 月 22 日から 7 月 21 日、聴講事前申し込みは 6 月 22 日から 8 月 20 日、原稿提出期間 6 月 1 日から 7 月 30 日。平成 22 年度の場所も決定しており、九州産業大学に於いて 2010 年 9 月 25,26 日の土日開催になる予定である。平成 21 年度については国際セッションの開設について IEEE にも例年通りの協力を要請されている。

国際セッションについては C, AP の新 Chair に確認したところ今年も実施したい旨、及び興からも LEO について例年通り国際セッションを行いたい旨提案があった。

TENCON2010 の状況について

興より、ExC-2009-1-7 に基づき現況が報告された。TENCON2010 実行委員会の収支状況と、広報状況、ホームページの用意の状況等が報告された。なお、R10 より 2/28 の R10 ミーティングにおいて、TENCON2010 の準備状況について、(1)Conference Theme (2) Venue and Important Dates, (3) Congerence Fee, (4)Proposed Tracks, (5) Other important info について説明を求められており、これらについての回答案を協議した。

一部は理事会後の TENCON2010 に関する打ち合わせによる決定であるが、ここに記す。

(1) Conference Theme は、ICT をキーとして考える。関連ワードは Dependability, Security, Safety, Green IT, Sustainable system など

(2) Venue and Important Dates (all deadlines)

(3) Conference Fee

一般は 早期で\$400 それ以降は\$500

Students: \$200/\$250

(4) Proposed Tracks では 2 chairs for 1 Track とし、

1. ICT

2. Material and Devices

3. Circuits and Systems

4. Energy & Electronics

5. Applications

福岡支部学生研究奨励賞の審査方法について

窪寺 SAC Chair より、審査員数の確保について提案があった。現状の報告では、現在 30 件今日の応募が続いており、1 応募論文につき、3 名の審査をつけると 100 件ほどの審査になり、これを 20 人程度の審査員で審査するため一人 5,6 件を審査している。しかし、一部の審査員から審査を拒否されたりすることがあり、これを SAC Chair や Secretary, Chair が追加審査することで対応するため審査の負担が一部で大きい。同時に SAC Chair も調整に余分な時間を要する。提案は、これまで役員を中心とした審査員構成を各 Chapter の構成員にまで広げることと、役員についても前役員(退任後 2 年間)は必ず審査員を務めることを約束していただきたい、の 2 点であり、提案通りで認められた。審査員の審査対象論文がその専門外になることが多く、採点が困難なことが多い現状の問題については、審査員数の増大で緩和される事を期待して様子を見ることとなった。

MGA Operations Manual での Section 運営について

MGA Operations Manual に於ける Section Addendum の申請までの経緯と状況が説明された。昨年、R10 ディレクターの Park 先生に Fukuoka Section Addendum を確認してもらい依頼をしたものの、着任時期が今年 1 月からということで確認が終了していない。年が変わったこともあり、速やかに承認を完了したい、と荒木 Chair からコメントがあった。

役員名簿確認

役員名の確認が行われた。2009 年からの NC Chair が牛島先生となっていたがこれは記載ミスで二宮先生である。EMB 西日本チャプターは本来 2009 年で改選の予定で、その場合には Chair が福岡支部所属でなくなることがある。これについては役員会メンバーを EMB Chair 以外から決める必要がある。(ExC2007-2-12, ExC2008-1.2 参照) しかし、Chapter 立ち上げ後でまだ間がないため、砂川 Chair が再任しており、引き続き EMB からの役員メンバーは砂川先生であることが諸岡 EMBS Secretary より報告された。

TENCON2010 について

理事会後 30 分ほど休会し、TENCON2010 について打ち合わせを行った。参加メンバーは荒木、興、末次、二宮、谷口。

ハノイでの R10Meeting について岡田 Chair(あるいは大久保 Vice-Chair)と末次 Secretary の 1,2 名が参加し、TENCON2010 については説明する。その際の旅費として、1 名は支部予算から、2 名目については TENCON 実行委員会の予算から供出することとした。

(1) Conference Theme

最初の提案時に ICT を言うキーワードを利用しているのでこれを入れる必要がある。
候補になる英単語は Dependability, Security, Safety, Green, Sustainable など。
岡田新 Chair の意見

(2) Venue and Important Dates (all deadlines)

会場は福岡国際会議場。締め切りはシンガポール TENCON2009 を参考に以下に決定した。

Deadline 11th May, 2010 Paper Submission : 論文投稿締め切り

Deadline 11th Aug., 2010 Notification : 採択結果通知。

Deadline 11th Sep., 2010 Camera Ready (Final) : 採択論文の修正結果の提出期限

会場については 10%の予約金を支払う必要がある(約 50 万)ため、TENCON の準備委員会から支払うこととした。会場費用は 500 万となる予定である(設備費込み)

(3) Conference Fee

会員参加費 : \$400/\$500

学生参加費 : \$200/\$250

学生参加については谷口より参加費補助の仕組みについて提案などがあつたが、資金面などを検討して以降考える事となった。中国などについて、特別 Fee をつけるかについては Double Standard は制限が無くなるので採用しない方が良いのではないかと意見が出された。

(3) Proposed Tracks

Track は 5 つほどにして、各トラックに二人の責任者を置く。各トラックの候補は

- ICT (C, COM, Multimedia)
- Material and Devices (MAG, AP, LEO)
- Circuits and Systems (SP, CAS)
- Energy & Electronics (DEI, PEL, PE, CS, IAS)
- Applications (EMB, RA, AES)

として、それぞれに Chapter, 分科会を配分する。Chapter が有る場合および、Section 構成メンバーが多く所属している分科会を割り当てている。

C	IEEE Computer Society Membership	179	IT	IEEE Information Theory Society Membership	20
CAS	IEEE Circuits and Systems Society Membership	61	LEO	IEEE Lasers and Electro-Optics Society Membership	19
COM	IEEE Communications Society Membership	57	DEI	IEEE Dielectrics and Electrical Insulation Society Membership	15
SP	IEEE Signal Processing Society Membership	57	GRS	IEEE Geoscience and Remote Sensing Society Membership	12
CIS	IEEE Computational Intelligence Society Membership	51	NPS	IEEE Nuclear and Plasma Sciences Society Membership	12
SSC	IEEE Solid-State Circuits Society Membership	48	EMC	IEEE Electromagnetic Compatibility Society Membership	11
CS	IEEE Control Systems Society Membership	40	IM	IEEE Instrumentation and Measurement Society Membership	11
RA	IEEE Robotics and Automation Society Membership	37	VT	IEEE Vehicular Technology Society Membership	11
SMC	IEEE Systems, Man, and Cybernetics Society Membership	36	E	IEEE Education Society Membership	9
ED	IEEE Electron Devices Society Membership	32	ITSS	IEEE Intelligent Transportation Systems Society Membership	9
PE	IEEE Power Engineering Society Membership	32	CE	IEEE Consumer Electronics Society Membership	8
MTT	IEEE Microwave Theory and Techniques Society Membership	31	AES	IEEE Aerospace and Electronic Systems Society Membership	7
AP	IEEE Antennas and Propagation Society Membership	30	RL	IEEE Reliability Society Membership	6
EMB	IEEE Engineering in Medicine and Biology Society Membership	28	OE	IEEE Oceanic Engineering Society Membership	5
IA	IEEE Industry Applications Society Membership	27	CPM	IEEE Components, Packaging, and Manufacturing Technology Society Membership	4
PEL	IEEE Power Electronics Society Membership	26	UFFC	IEEE Ultrasonics, Ferroelectrics, and Frequency Control Society Membership	3

(4) 実行委員会

素案として以下の構成を考えた。本人の承認を得ていない部分については早急に承認をもらう必要がある。

- General Chair(安浦先生) Co-chairとして海外、JCから招聘する
- Organizing Chair(荒木先生)
- Local Arrangements Committee(内田先生,+vice)
- Program Committee(岡田 chair, ICT Track:谷口, 海外)
- Tutorial Committee()
- Publications Committee()
- Publicity & Public Relations Committee & Registrations(興)
- Finance Committee(末次 Secretary)
- Sponsorship Committee()
- Social Arrangements Committee()

(5) 予算案(2008年第1回理事会の資料に修正を加えたもの)

項目	為替	単価	個数	小計	備考
参加費(会員)[\$]	90		400	150	¥5,400,000
参加費(学生)[\$]	90		200	30	¥540,000
参加費(非会員・当日)[\$]	90		500	50	¥2,250,000
当日参加(会員)	90		500	50	¥2,250,000
当日参加(学生)	90		250	20	¥450,000
当日参加(非会員)	90		600	50	¥2,700,000
福岡市助成金	1	2,000,000		1	¥2,000,000
福岡支部	1	2,000,000		1	¥2,000,000 現在50万を供出済み
JC補助金	1	2,000,000		1	¥2,000,000 現在50万を供出済み
収入合計					¥19,590,000

会場利用費	0.9	4,860,000		1	¥4,374,000	全館利用で10%割引
機器利用費	0.9	818,093		1	¥736,284	全館利用で10%割引
パンケット	1	2,500,000		1	¥2,500,000	約6000円/人
レセプション	1	1,700,000		1	¥1,700,000	約4300円/人
コーヒープレーク	1	798,000		1	¥798,000	
配布バッグ	1		210	800	¥168,000	
講師謝礼旅費	1	1,500,000		1	¥1,500,000	日本15万 韓国35万 欧米100万
WEB/CDROM	1	4,170,000		1	¥4,170,000	
プログラム印刷	1		1,000	800	¥800,000	
委員会旅費	1	1,000,000		1	¥1,000,000	
支出合計					¥16,746,284	